



令和5年7月1日現在	
世帯数	: 868世帯
人口	: 1523人
男	: 725人
女	: 798人

第一地区の 老舗をたのむ

第四十九回:
倉惣茶商店
(本町4丁目)

当店は様々な茶類や茶器、菓子等の食料品や各種ギフト商品等の卸・小売を行っているお茶屋ですが、その歴史は約78年前に遡ります。

山梨県甲府市で生まれ育った初代大久保直次郎が戦火を逃れて移り住んだこの松本の地で、お茶の露天商を始めたのが戦後間もない昭和20年12月の事でした。その3ヶ月後、本町4丁目に店を構え、「寿屋茶店」の名で店舗経営と袋詰め等の作業を同所で開始しました。その後、甲府の老舗「倉惣茶商店」のノウハウを学び、それを生かすにあたり「倉惣茶商



駅前通りに面した店舗外観

店松本支店」と名称変更し、昭和27年には経営の合理化と業績発展のために法人化、名称を「有限会社倉惣茶商店」と改めました。小売以外にも卸販売を主体とした外商も行って、徐々に売上を伸ばしていく。最新の昭和35年9月、53歳の若さで直次郎が突然他界してしまいます。時は高度成長期の真っ只中でした。その後



店内は煎茶など豊富な品揃え

は妻である実と2人の息子、勇夫と武夫が中心となり親戚の手も借りながら業績を伸ばしていききました。昭和55年には手狭になった駅前の店舗から筑摩に作業所を移し、筑摩店を営業の拠点としました。時代は昭和から平成に移り変わり、平成10年には店舗の建て替えに伴うリニューアルにより、今では当店を代表する看板商品のひとつとなった「抹茶ソフトクリーム」の製造・販売を始めました。

現在は勇夫の妻三千子が店を引き継ぎ、切り盛りしています。取り扱い品目も時代と共に得意先や用途に応じて多様化しており、茶類だけでなく

Presented by
視聴覚委員会



まちかどフォト 第一地区の風景



松本PARCOを望む



深志1、2丁目交差点から北へ

茶葉やティーバッグ、パウダー茶等があります。

その中でも主力商品である煎茶には、産地や品種、製造方法等の違いにより様々な種類が存在しています。当店取り扱いの煎茶は特徴ある数種類のお茶を合組(こうぐみ・ブレンドの意)した当店だけのオリジナル煎茶なのですが、実は現在の合組になったのは割と最近の事なのです。時代のニーズに合わせて香り

や甘味(旨味)・苦味・コクのバランス、水色等の見直しや改良を重ね、今の合組になったのは数年前からなのです。

産地の茶園直送茶とは一味違う倉物の煎茶を味わっていただければ幸いです。



美しい町

コロナやロシア侵攻や、とにかく歴史の転換点かもしれない出来事が続く昨今です。国際社会全体、そして日本国においても、何か根本的な変化が起きつつある予感がします。平和憲法のおかげか、アメリカの軍力のおかげか、日本という国は今日まで国際的にも稀有な平和を享受してきました。

壺のようになって見られるのを見つけた、「町」という人間の住む環境についてです。破壊された町では、寝起きする場所や食料・水、寒暖への対処や交通、そして何より安心、安全というものが失われています。この失われているものが、普段私たちが気づくこともなく享受している町というもの、町の恩恵でしょう。ウクライナの、町を失った人たちに支援してあげたいと思わずにはいられませんが、同時に私たちも一度「町」の在り方を考えたいものです。

人間が生きていくための必須な条件について、どんな要素も重要でしょうが、緊急度から言えば、まず「安全・安心」でしょう。それから飲み物・食べ物、そして寝起きする場所や寒暖への備え、人の交流や交通といった順序でしょうか。こういったものの確保については平素からも頭の隅に置いておきたいものですが、もう一つ、プラスチックがあると思っと思っています。それは景観です。美しい街並み、美しい景色、そして、身近な緑と水、花の咲く中に息づく虫や鳥といった生き物たち。思えば、私たちの生活して



第一地区周辺の町の景観



この4月に還暦を迎えた。一つの区切りだと思いい、少し構えていたが、まあ言ってみれば、一晩寝て起きて翌日になっただけ。いつもの誕生日と特に変わることもない。50歳になったときのほうが「もう半世紀も生きてるんだ」という感慨があったような気がする。

人生100年時代と言われる昨今、60歳になるといふことの重みは確実に変わってきているのだろう。

寿命が延びるといふことは、それぞれの年齢での成熟の速度がゆっくりになることなのかと最近思う。自分の幼いころの60歳はもっと老人らしく、物事の道理を弁えていたようにみえた。子どもたちの精神的な発達もわかり。

新しい自分に生まれ変わる自信はないが、溢れかえる情報の波に呑み込まれることなく、まことしやかに近づいてくるものを疑う勇氣を持って、世の迷惑にならないように往生したいものである。

電車通り

